

地域密着型金融の取組みについて

当金庫は、地域経済の発展・繁栄に貢献するため「中小企業の支援・育成」、「地域のお客さまの利便性向上」を目標に取り組んでおります。

今後とも地域に根ざす金融機関として、会員・お客さまとの絆を大切に、社会的責任を果たしながら地域に必要とされる金融機関を目指してまいります。

地域密着型金融の取組み状況を取りまとめましたので、ご案内させていただきます。

平成21年度「地域密着型金融」の推進状況について

◇平成22年度における取組み項目

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業・新事業支援

○地公体、信用保証協会、地元金融機関との連携及び融資の強化

(2) 経営改善支援

○ビジネスマッチングの推進

○既往取引支援先への経営改善支援・ランクアップ

(3) 事業再生支援

○中小企業再生支援協議会等との連携強化

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み

○シンジケートローン等の活用

○金庫プロパー無担保商品、信用保証協会制度融資の推進

(2) 目利き機能の発揮に向けた取組み

○外部研修等への職員派遣、金庫内研修の実施によるスキルアップ

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面的再生」への取組み

○PFI事業の取組み

(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

○金融教育への取組み

○相談苦情処理機能の強化

平成21年度「地域密着型金融」推進状況について

平成21年度における地域密着型金融推進につきましては、①中小企業金融再生に向けた取組み、②健全性確保、収益性向上に向けた取組みを基本に、中小企業金融の再生と持続可能性の確保を図るため、地域のお取引先の支援、再生に積極的に取り組んでまいりました。

今後とも、お客さまとの絆を深めながら、お客さまの繁栄と地域社会の豊かな生活の実現に向けて「地域密着型金融」を深化させ、積極的に推進してまいります。

平成21年度・地域密着型金融推進計画の進捗状況 別紙1

平成21年度・経営改善支援等の取組み実績 別紙2

項目	現状の分析及び評価	計画（含む目標設定）		進捗状況（平成21年4月～22年3月）
		取組方針及び目標	具体的取組策	
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化				
(1) 創業・新事業支援				
・創業・新事業支援融資	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県信用保証協会の創業育成資金融資等の取扱実績（20年度） 創業支援 7件 23,000千円 事業支援 1件 280,000千円 *案件発掘のための情報収集・分析・行動力が課題である。 創業支援のツールの拡大とスキルアップのため、研修会を開催した。 *創業支援のツール拡大、スキルアップと産学官とのネットワーク構築が課題 	<ul style="list-style-type: none"> 中小・地域専門金融機関として創業・新事業支援が地域活性化及び企業成長に重要な役割であることを認識し、地公体、保証協会、他金融機関と連携を強化し推進する。 創業支援ならびに事業支援の目標を前年度実績を上回る件数、金額とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県信用保証協会との情報交換及び連携を強化し、制度融資の積極的活用を図る。 日本政策金融公庫との連携強化とノウハウ取得に努め、創業支援の活用を図る。 産学官とのパイプづくり構築に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県信用保証協会の創業支援融資等の取扱実績（21年度） 創業支援 4件 22,900千円 外部研修への役職員派遣を継続して実施し、創業支援のツールの拡大及びスキルアップを図った。
(2) 経営改善支援				
・債務者区分ランクアップのための経営改善支援の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 支援先とのコミュニケーションを充実したことで再生への意欲が高揚した。 *企業支援担当の管理先の絞込みと営業店が独自で通常業務を通じ管理先の抽出を行い、支援の強化することが課題 	<ul style="list-style-type: none"> 企業の信用力向上と業績アップのため、取引先債務者区分のランクアップを図り、ランクダウンの防止に努める。 前年度実績（ランクアップ1件）以上のランクアップを目標とする 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な経営改善支援を図るべく、2区分に分類し支援を図る 最重点支援先・・・ランクダウン防止のため最優先で対応する先。 通常支援先・・・定期的な訪問面談、試算表徴求を行い、実態把握・問題点の指導助言する先 	<ul style="list-style-type: none"> 審査部企業支援担当に専担者を1名配置し、7先の企業支援を実施した。専担者は中小企業診断士有資格者で企業の分析・経営管理能力向上のための支援を行った。 具体的な取組みとしては、毎月1回以上、面談を実施し代表者等との深度あるコミュニケーションにより企業の実態を把握すると同時に必要な助言を行った。
(2) 経営改善支援				
・ビジネスマッチング	<ul style="list-style-type: none"> 20年10月17日～18日に「ビジネス&テクノ東北2008」を開催、金庫取引先3企業出展商談成約（含む見込）21社、継続予定43社 *取引企業への広報活動の積極的な展開と参加企業増加ならびに事前商談会開催等が課題 	<ul style="list-style-type: none"> 取引企業の業績向上・知名度アップを図るため、前年度に引続き東北地区協会主催の「ビジネスマッチ東北2009」に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 11月11日～12日の両日開催予定の東北地区協会主催「ビジネスマッチ東北2009」に、ニーズのある取引企業の出展を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ビジネスマッチ東北2009」に、金庫取引先3企業が出展、商談成約1社、商談継続8社の実績であり、販路拡大による売上増加が図られた。
(3) 事業再生支援				
中小企業再生支援協議会等との連携	<ul style="list-style-type: none"> 業務提携している専門家を支援取引先に派遣方要請し、定期的な指導を図った。 県中小企業再生支援協議会の2次対応完了先が20数先、うち当金庫の取引先は4先、また、3先の進捗管理をモニタリング中 *再生支援協議会との連携強化を図り、当協議会の積極的活用を図ることが課題 	<ul style="list-style-type: none"> 取引先の企業再生支援を教誨するため、信用保証協会、再生支援協議会、みやぎ産業振興機構、商工会議所等の外部専門家と連携態勢の整備を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 左記のとおり 	<ul style="list-style-type: none"> 再生支援等に係る取扱実績（21年度） 進捗状況管理先 2先 再生計画策定先 1先 中小企業再生支援協議会、(財)みやぎ産業振興機構、商工会議所等の外部専門家との連携態勢の整備を図った。
(4) 事業継承支援				
コンサルティング業務・M&A業務	<ul style="list-style-type: none"> 取組み実績はありません *体制整備及び地域ネットワークを活用し外部専門家との連携強化が課題 	<ul style="list-style-type: none"> 業界関連団体の外部専門家とのパイプ構築を図り、ニーズのある取引先に紹介を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 通常業務を通して、ニーズ調査を行ない、業界の外部専門家を紹介し、業績向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> コンサルティング業務は、該当がなかった。 M&A業務についても、ニーズがなかった。

項目	現状の分析及び評価	計画（含む目標設定）		進捗状況（平成21年4月～22年3月）
		取組方針及び目標	具体的取組策	
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底				
(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み				
シンジケートローン等の活用	<ul style="list-style-type: none"> 紹介案件は数件あるも、地区外案件のため取扱実績は「0」である。 *地元中小企業への資金供給方法として、コベナンツ（財務制限条項）を活用した商品開発・推進が課題 	<ul style="list-style-type: none"> 地域金融機関として、多様な資金供給方法を通じ地元企業の業績向上・信用力アップを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 地元金融機関との情報交換及び連携強化を通じて、シンジケートローンへの取組みに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> シンジケートローン等に係る取扱実績（21年度） シンジケートローン 0件 0億円 シンジケートローンについては、2件の紹介があったが、実績には結びつかなかった。
担保・保証に過度に依存しない融資	<ul style="list-style-type: none"> 20年度の無担保融資商品の取扱実績「ウイズ300」27件、58,620千円 *業績低迷の企業への資金供給が課題 	<ul style="list-style-type: none"> 地域金融機関として取引企業への円滑な資金提供を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 既存取引先の情報収集を徹底し資金需要の掘起しを図る。 取引先の新規開拓を図るとともに、取引先ニーズにあった新商品の提供に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 無担保融資商品の取扱実績（21年度） 「ウイズ300」 10件 24,000千円 「ウイズ60」 10件 24,300千円
(2) 「目利き機能」の発揮に向けた取組み				
目利き機能の向上をはじめとする人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 融資業務担当者のスキルアップを図り、経営支援を必要とする取引企業に助言等を行い、経営改善に寄与している。 研修等受講者が庫内勉強会でフィードバック研修を継続実施し、金庫全体のスキルアップを図ることが課題 	<ul style="list-style-type: none"> 担保・保証に過度に依存しない融資を実行すること、信用リスク量を最小限に抑えるためにも、人材の育成は必要不可欠と認識しており、内外研修等を通じ継続して養成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 左記のとおり 	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修への派遣実績（21年度） 全信協「目利き力養成講座」外 3講座に7名を派遣、融資・渉外担当者のスキルアップが図られた。
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献				
(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野みに入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組				
PFI事業の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 信金中金をアレンジャーとするPFI事業に対し「関心表明書」を3件提出、継続して取組みへ意思表示する *信金中金及び地元金融機関との連携を強化し、情報収集ならびに参入取組みを図る 	<ul style="list-style-type: none"> 地域振興、活性化のため、PFI事業に積極的に取組みを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 信金中金との連携強化を図り、積極的にPFIを取組む。 	<ul style="list-style-type: none"> PFIに係る取扱実績（21年度） PFI 1件 3億円 PFI事業参加により、地域貢献、担保・保証に依存しない融資の推進が図られた。
(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供				
金融教育	<ul style="list-style-type: none"> 実績はありません *中・高校生を対象とした体験学習の実施を早期に実施する体制の整備が課題 *町内会、老人会等で「振込め詐欺対応セミナー」を開催し、犯罪撲滅が課題 	<ul style="list-style-type: none"> 預金者保護の観点から町内会、老人会等でのセミナーを開催し、「振込め詐欺」の防止を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 左記のとおり 	<ul style="list-style-type: none"> 実績はなかった。

■経営改善支援等の取組み実績（平成21年4月～平成22年3月）

（別紙2）

	期初 債権者数 A	うち 経営改善支援 取組み先数 a	aのうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数 b	aのうち期末 に債務者区分 が変化しなか った先数 c	aのうち再生 計画を策定し た先数 d	経営改善支援 取組み率 a / A	ランクアップ 率 b / a	再生計画 策定率 d / a
正 常 先 ①	1,168	1	/	0	1	0.1%	/	100.0%
要 注 意 先	うちその他 要注意先 ②	219	4	0	4	1.8%	0.0%	100.0%
	うち 要管理先 ③	8	0	0	0	0.0%	—	—
破 綻 懸 念 先 ④	26	0	0	0	0	0.0%	—	—
実 質 破 綻 先 ⑤	47	2	0	2	0	4.3%	0.0%	0.0%
破 綻 先 ⑥	13	0	0	0	0	0.0%	—	—
小 計 (②～⑥の計)	313	6	0	6	4	1.9%	0.0%	66.7%
合 計	1,481	7	0	6	5	0.5%	0.0%	71.4%

- (注) ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業（個人事業主を含む）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まない。
 ・経営完全支援取組み先で期中に完済した債務者は「a」に含めるものの「b」に含めない。
 ・期首の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合には「b」に含める。
 ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。
 ・「再生計画を策定した先数d」＝「金融機関独自の再生計画策定先」